

4度目の市スポーツ 功労賞授与



1
度
目
OWARIASAH

スケート選手
> 早くスケートか
したいかな？
吉永一貴



吉永一貴



2
度
目
OWARIASAH



吉永 一貴

1999年7月31日生まれ / 尾張旭市出身
白鳳小学校、中京大学卒業。現在はトヨタ自動車(株)所属

PROFILE

小学4年生から本格的にショートトラックを始める。
平昌2018冬季オリンピックでは、ショートトラックの日本
男子で史上最年少の18歳で出場。

受 賞	1度目	2009年(10歳) 全国大会優勝	3度目	2022年(22歳) オリンピック出場
	2度目	2018年(18歳) オリンピック出場	4度目	2026年(26歳) オリンピック出場





本市出身の吉永一貴選手が、今年2月に開催された、ミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックに出場しました。オリンピックへの出場は今回で3回目。世界を舞台にショートトラックスピードスケート日本代表として、氷上を駆け抜けるその姿は、多くの市民に興奮と感動を届けました。

4/17に市役所で、市スポーツ功労賞*贈呈式が行われ、小学4年生の時に初めて授与され、今回で通算4度目の受賞となりました。

柴田市長との歓談では、「悲願の金メダルを獲って、地元の皆さんに良い報告をしたい」と語り、早くも4年後のオリンピックを見据えています。

※スポーツの分野で顕著な成績を収め、市のスポーツ振興に多大な貢献をした方々の栄誉をたたえる制度

